

## 平成29年度第2回玉名市特別職報酬等審議会 議事録

日 時：平成29年7月28日（金）午後1時30分～午後2時30分

場 所：玉名市役所本庁舎3階3-1会議室

出席委員：児玉陽一、柴田恵子、高見健一、松木幸美、吉岡一雄（50音順）

事務局：松田智文、大村優、高本康夫

### 1 開会

### 2 会長挨拶

挨拶内容については以下のとおり

- ・前回会議で持ち越しとなった政務活動費について、委員には活発な意見をお願いしたい。

### 3 議題

#### (1) 前回審議会の内容確認について

前回審議会の議事録を用いて、内容確認を行った。

#### (2) 本市及び県下他市の政務活動費の支出状況について

本市においては3ヶ年度（平成26～28年度）、県下他市においては直近（平成27年度または28年度）の政務活動費の使用状況について説明を行う。

※熊本市は政令指定都市のため除く。

#### (3) 答申について

据え置きとなった理由や委員からの意見・要望を踏まえて作成した答申書案について、説明を行った。また、本日の内容の追加や細かい部分については、会長と事務局で調整して作成することで、委員の了承を得た。

なお、委員からは以下の意見や質問があった。

**会 長**：本日の争点は、政務活動費について、現行のままか改定すべきかということだが、改定する場合はそれなりの根拠が必要である。委員からの意見を伺いたい。

**A委員**：阿蘇市と合志市については政務活動費がないが、その理由については？

**事務局**：事務局で把握している内容について説明

**B委員**：次の改選から2議席削減されるということで、その分は活動も増えると思うので、政務活動費は増額してもいいと考えていたが、昨年度の使用率が減少していることから、増額する理由は見当たらない。

**C委員**：議員には政務活動費を増額して、市のために活発な活動を行ってほしいと考え

ている。

**A委員**：使用率が減少したのは、全国的にも不正使用等が話題となったためではないかと思う。

**D委員**：数字的な根拠から言えば、政務活動費 18 万円のうち 4 万円前後が返金されていることから、約 14 万円の支給でいいのではないか。つまり、減額改正で 14 万円でもいいのでは。今回、増額する根拠は全くないと考える。

**A委員**：今回、増額や減額あるいは現行のままと様々な意見があったが、最終的な結論にそのような意見もあったことを付け加えて答申していただきたい。

**事務局**：答申書には少数意見だけでなく、活発な議員活動の要望などの付帯意見も添えたいと考えている。

**D委員**：審議会は来年も開催されるのか？

**事務局**：今後は少なくとも 2～4 年以内には開催すべきと考えている。また、大幅な人事院勧告等があった場合も開催するのが望ましいと考えている。

**D委員**：政務活動費については、今年 10 月に議員改選が予定されているため、次の議員の支出状況や活動を見極めて、判断したほうがいいと思う。

**B委員**：過去の使用状況から考えても、政務活動費は現行のままが妥当でないかと考える。

**A委員**：選挙も控えているので、新たに選出された議員の支出状況を踏まえて、来年度以降の審議会で検討することでいいのではないか。今回は現行のままでいいと考える。

**C委員**：現行のままが妥当であると思うし、今後の議員活動に期待したい。

**A委員**：答申の付帯意見に活発で明確な議員活動をお願いしたいと付け加えることで、私も今後の議員活動に期待したいと考えている。

**会 長**：今までの各委員からの意見を踏まえて、政務活動費については据え置きということではよろしいか？

**全委員**：異議なし

#### 4 閉会